

令和2年度第70回卒業証書授与式 式辞

例年より多くの雪が降り積もった冬の季節も次第に日差しが温かくなり、春の兆しを迎える本日、御来賓の皆様、御臨席を賜るとともに、保護者の皆様の御列席のもと、福島県立南会津高等学校第70回卒業証書授与式を挙行できますことはこの上ない喜びであります。

ただいま卒業証書を授与された48名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、本校に入学して三年間、勉学、部活動に真摯に取り組み、コロナ感染対応にも忍び耐え、素晴らしい成果をおさめました。日頃の生活態度も立派であり、本校の大きな誇りであります。新たな学校や職場においても一層の活躍を期待しています。

さて、東日本大震災から、十年になりました。新聞報道にもあるように、いまだに解決できない問題が残る中、最近また余震もあり、まだまだ心配はつきません。被災地の方々には、出来ることがあれば、助けの手を差し伸べ、ともに明るい未来を築いていくことができれば、と願います。また、当地域においては、少子高齢化・人口減少の問題など、困難な課題が山積しています。そうした現在の、多様な問題に立ち向かい、新たな未来を切り開く若い力は私たちの希望、大きな期待であります。卒業生の皆さんが、様々な分野に進んで、沢山の知識や技術を身につけ、それぞれ目覚ましい活躍をしていくことを心より期待しております。

本校は一昨年、創立70周年を迎えました。終戦後の昭和23年、駒止峠から西の地域に、高等学校を設置しようと多くの方々が努力し、本校が創立されました。第1回の入学式には、405名という沢山の入学生を迎えた、と記されています。その後幾度か、水害に見舞われた時代を乗り越え、昭和40年代に現在の形に落ち着いたそうです。

そうした時代、軟式野球部やハンドボール部が県代表として東北大会まで進出しました。昭和50年代には剣道部、バレーボール部が全国大会進出、平成の時代からは、スキー部の活躍が始まりました。

卒業生の皆さんも、スキー部は毎年全国大会に進み、バレーボール部は一昨年、37年ぶりにFTV杯に進出しました。野球部も昨年度の夏、26年ぶりに3回戦まで進出してくれました。

進学・公務員・就職など、進路実績においても素晴らしい成果の伝統を、今に継続しています。これまで、本校の先輩方はみな、真摯に学業に励み、卒業後は有為な人材として、力を発揮しています。そうした素晴らしい先輩方のあとに続いて、この南会津高校の卒業生である、という誇りの気持ちを持ち、立派な社会人として地域を支え、貢献できる人物になってほしいと心より願っています。

保護者、御家族の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。今日まで大切に育ててこられたお子様が高等学校卒業という、人生の大きな節目を迎え、感慨もひとしおのことと存じます。また、親元を離れてしまう寂しさも感じていらっしゃることでしょう。卒業生諸君は、まだ経験も浅く、悩み苦しむことがあるかと思えます。今後とも温かく見守って支えてくださいますようお願いいたします。

結びに、本日御臨席をいただいた御来賓の皆様にご改めて感謝を申し上げますとともに、卒業生の前途に、幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和3年3月1日

福島県立南会津高等学校長 橋本 忠広